



教育目標

- げんきな子
- よくかんがえる子
- なかよくする子

おひさまきらきら えがおいっぱい なんざんようちえん

港区立南山幼稚園 NANZAN Kindergarten



3月園だより

〒106-0046
港区元麻布3-8-15
平成31年2月28日

【ひなまつりお茶会】



5歳児さくら組はお茶を点てる経験をしました。



姿勢を正すことを意識してお茶をいただきました。

【4・5歳児のかかわり】



フラフープや縄跳びに繰り返しチャレンジ！



修了式の間では、真剣に見て参加します。

新しい扉をあけるときの

園長 小久保 篤子

修了式まで11日、進級に向け今年度も残り少ない日々となりました。

本園の教育目標「げんきな子 よくかんがえる子 なかよくする子」を目指して各学年の目標を立て、教育活動を進めてまいりました。保護者の皆様のご理解・ご協力のもと、子どもたちが楽しんで幼稚園生活を送ることができたことを心より感謝申し上げます。

先日、数名の5歳児が南山小学校の体験入学をしている様子を参観しました。授業の最後に、小学校の先生がその日の感想を発表してほしいと投げかけましたが、参加している子どもたちの多くは少し遠慮して、恥ずかしそうにしていました。でもその表情は嬉しそうで、笑顔もとても子どもらしく、誰が発表するのか探っている様子が印象的でした。これが入学を楽しみに待つ姿なのだろうと思います。子どもたちが同じ空間でこれから一緒に生活する同級生の存在を意識しながら授業体験をしていることに、とても意味があると考えています。

大人の目線では、子どもに対する期待が優先して、同学年の子どもたち、あるいは兄弟姉妹と比較して、課題ばかりが気になりがちです。子どもと同じように大人も心配や不安を抱くのも自然な姿です。しかし、今だからこそ、我が子のいいところ探しをしてみましよう！

「朝の支度が、自分でできるのね、もうすぐばら組になるんだものね」「友達に自分の思っていることを言葉で伝えられたね」「自分でよく考えたね」「何度も挑戦して、あきらめないってすごいね」など、子どもの成長の姿をしっかり捉えて言葉で届け、修了式、終業式を節目に、新しい扉を子どもたちが自分の力であけられるといいなと思います。

保護者や地域の皆様、関係機関の皆様には、この1年間、本園への教育活動に温かいご支援とご協力を賜り、ありがとうございました。